

## 平成30年度座談会「町長と語ろうまちづくり」(生涯学習センター)

開催日時	平成30年11月14日(水)午後7時から午後9時	天気 晴
場所	生涯学習センター	
町民参加者	男17人 女3人 (50代2人、60代以上18人)	
町出席者	町長、教育長、参事兼企画政策課長、総務防災課長、保険健康課長、 定住対策課長、新東名対策室長、生涯学習課長、事務局2人	

### 出席者から出た主な意見や提案

#### 《テーマ：防災対策について》

○自助、共助、公助とあるが、公助の部分で自治会に加入していない人は公助の対象にならないのか。

○災害防止の予算は町ではどのくらい用意しているのか。

○9月頃に東名高速道路の地盤調査をしていたが、その調査結果はどのようになったのか。

2～3年前に鶴野の観音様の上で土砂が崩れ、処置をしているが、他の場所で崩れそうな所の調査はしているのか。

○地球温暖化により、非常に雨が多くなっている。山北町には三保ダムがあり、ダムの放流により川の水を調整している。天気予報で非常に多い雨が降る予報がでると、電車や飛行機は運休になる。ただ、ダムは雨が降る予報になっても放流はせず、大雨になってから放流を開始する。三保ダムは1秒当たり3,000トンの水が放流される。山北町にはいくつかの川があるが、逆流現象が起きると大変な事になるが、町はその辺をどのように考えているのか。

○ダムの放水計画をダム管理事務所に聞いたところ、管理システムがあるわけではなく、水量計を確認しながら手動で放流していると言っていた。岸や清水にある川が心配である。対策を考えておいてほしい。

#### 《テーマ：その他》

○政府が観光客を増やそうとしている。去年は2,900万人を目指し、2020東京オリンピックの時までには、4,000万人に増やすと言っている。箱根町では去年50万人の観光客が来ている。箱根町には及ばないが、山北町でも豊かな自然や独特の祭り、温泉やダムなどがあるので、具体的にどのような観光対策をおこなっているのか。さらに、今後どのような対策をして観光客を増やしていくのか。

○定住人口が減っていくのは、やむを得ないところであるが、関連人口は増やす事ができる。関連人口が増えれば町は活性化するので、今後具体的に何をやるのか、何をやってきたのか、どこを目指していくのか。

○現在、民間が所有しているアパートや貸家は何件あり、空き室率はどのくらいあるのか。

○通勤手段として富士急湘南バスを利用しているが、運賃が高いので、町で対策をとっていただきたい。また、町おこしがあるのか。

○土産品などの売り上げ金の一部を貯めて、これからの子どもたちのために使用して欲しい。また、人口を増やす対策をしっかりとおこなって欲しい。

○2015年に空家対策特措法が施行されたが、町として空き家対策をどのように考えているのか。

○新東名の工事をおこなっているが、宮地の地区内に作業者が住むとの情報があるが、事前に自治会へ情報提供があるのか。

○東部鉄道がC11のSLを営業運転すると聞いたが、山北町にはD52があるが、現在は12mしか動かない、100mに延伸するという話があるので、実現していただき観光客誘致に繋げていくようお願いしたい。

○定住対策について、山北町には町営住宅が何箇所かある。根下にも町営住宅があり、19戸の内7戸が入居している。木造で50年経っているが、いつ頃に取り壊しをするのか。